

『雪合戦』

誰でも雪を楽しむことができる活動です。雪を使った競技「雪合戦」を通じて、楽しみながら、雪に親しみ、チームゲームを通して協調性や連帯感を養うことができます。雪の世界に触れることで自然への感性を高めることも期待できます。

【時期】 12月下旬～3月上旬

※ただし、天候や積雪状況により、実施できない場合がある。

【活動場所】 トンカチ広場

【人数】 80人

【所要時間】 1時間～2時間

*職員による指導はありません。

【対象】 小学生以上

【準備】 (個人) 雪の中での活動に適した服装、長靴、手袋、帽子（ヘルメットの下にかぶるので飾りなし）、ゴーグル、汗ふきタオル、飲料水、マスク
(団体) 救急バック、その他団体が必要と考える物
(自然の家) ヘルメット、ゼッケン、シェルター（大3小4）、フラッグ、雪球製造器スコップ、※天候によってバケツや水タンク等の必要あり。

【展開例】

1. 各自、外に出られる靴に履き替え、外に出られる服装で集合（集合場所は調整）。
2. チーム編成を行う。
3. けが防止のため、準備運動を行う。
4. トンカチ広場で雪合戦の準備をする。
 - ・シェルターは雪で作成するか、簡易の移動式シェルターを使用する。
5. 競技中は、ヘルメットとゴーグルを着用する。
6. 活動場所の原状復帰をする。
7. 貸出物品の個数、破損の有無を確認して返却する。

【指導上の留意点】

1. ケガ予防の観点から、準備運動はしっかりと行う（特に足首、手首などの関節部分）。
2. 使用する前に、ヘルメット等貸出用具の個数と破損部分が無いか確認する。
3. 競技をする時はゴーグルと、帽子の上からヘルメットを着用する。
※新型コロナウイルス感染症予防の観点からフェイスガード付きヘルメットの貸出は行わない。
4. 競技を見学している人は、競技のコートから5m以上離れる。
5. 雪球が適度な硬さか（硬すぎてケガする恐れはないか）競技前に確認する。
6. 天気が良い日は、予想以上に体温が上昇する場合がある。このため、服装などで体温調整はできるようにする。
7. こまめに水分補給をする（乾く前に飲むことを心がける）。
※動物の糞など衛生的に問題があるので、雪で水分を補給しないようにする。

【参考】 ○特別活動 ～校外の豊かな自然に触れる体験を通して、自然に関心を持ち、積極的に取り組もうとする。
○保健体育 ～雪の特性や魅力を感じ、その楽しさや喜びを味わうとともに、公正に取り組む、互いに協力する、安全に留意するなどの態度を育む。

教科との
関連